



なんぶ

議会だより

第74号

令和4年12月議会
発行/令和5年2月



- 12月議会審議結果……………2～4
- 議長挨拶・一般質問ダイジェスト…5
- 一般質問……………6～12
- アンケート……………13
- 町政要望……………14～15

- 若者×議員「自分・町・未来を語る会」
……………16～18
- 挑戦者たち……………19
- 二十歳の門出……………20

右のQRコードから「議会だより」が見られます。



補正予算

全会一致で可決

指定管理場所	指定管理者	指定期間
レストハウス・バーベキューハウス	鴨部まこも友遊会	2年間
農林総合利用促進施設(森林公園)	南さいはく地域振興協議会	3年間
町立東西町コミュニティセンター	東西町地域振興協議会	3年間
賀野地域交流拠点施設	あいみ富有の里地域振興協議会	3年間
町民体育館	南部町総合型地域スポーツクラブ	10年間

●町道路線の認定

- ①町道城山住宅支一1 延長 L=73.1m 起点 鴨部字戸構1474地先 終点 鴨部字戸構1467地先
②町道下川西線 延長 L=45.1m 起点 阿賀字石川西370-15地先 終点 阿賀字石川西370-16地先

●病院事業会計補正予算

- ①(収益的収入)新型コロナに関する補助金の増額
②(収益的支出)燃料費・電気料金高騰による経費の実績見込みによる増額、救急医療機関勤務臨時手当の増額
③債務負担行為の設定

●農業集落排水事業特別会計補正予算

- ①債務負担行為の設定
②電気料金高騰による予算不足がみこまれるため

●浄化槽整備事業特別会計補正予算

- ①債務負担行為の設定
②電気料金高騰による予算不足がみこまれるため

●太陽光発電事業特別会計補正予算

- ①債務負担行為の設定

●在宅生活支援事業会計補正予算

- ①(収益)新型コロナ在宅療養整備事業協力金の実績見込による増額
②(費用)救急医療機関勤務臨時手当の増額

債務負担行為とは

予算は単一年度で完結するのが原則ですが、1つの事業や事務が単年度で終了せずに後の年度においても「負担＝支出」をしなければならない場合には、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておきます。これを債務負担行為といいます。

令和4年度 一般会計

12月定例議会

令和4年12月定例議会が、9日から21日までの会期で開催されました。5件の公の指定管理者の指定、一般会計他9件の補正予算、1件の町道認定、2件の意見書、1件の決議が審議されました。

補正予算額 1億2955万6000円

主な事業

各庁舎、施設における光熱水費にかかる不足分	3232万6000円増額
各種過年度事業の実績精算による補助金返還額	3470万8000円
総務費 CATV施設管理	640万円
基金管理事業	1232万7000円
がんばれふるさと寄付金事業	832万8000円
民生費 自立支援介護給付事業	2021万5000円
児童措置事務費	302万3000円
生活保護扶助	900万円
農林水産業費 広域基幹林道事業	225万円

●国民健康保険事業特別会計補正予算

補正予算額 34万2000円	未就学児保険料均等割額の軽減措置に伴うシステム改修	16万5000円
	健康管理センターにおける光熱水費高騰にかかる不足見込	17万7000円

債務負担行為の設定

●後期高齢者医療特別会計補正予算 ①債務負担行為の設定

●後期高齢者医療特別会計補正予算 ①債務負担行為の設定 ②電気料金高騰による予算不足がみこまれるため

●公共下水道事業特別会計補正予算 ①債務負担行為の設定 ②電気料金高騰による予算不足がみこまれるため

●水道事業会計補正予算 ①電気料金と漏水修繕費の増による予算不足がみこまれるため

12月定例議会報告

発議案の審査結果

**発議案第13号 保育士配置基準の引き上げによる
保育士増員を求める意見書**

全会一致で可決

**発議案第14号 防衛費の増大でなく、抜本的な
物価高対策を求める意見書**

賛成少数で否決

討論

反対 防衛力の強化について持続性と強靱性というもので、これまで主要装備を導入しているが、これを抑えていたところを優先して強化していくという予算が多く含まれている。中国を戦略的な挑戦、北朝鮮を重大かつ差し迫った脅威とし急速に安全保障環境が厳しさを増している。国の責任は、国民の生命と財産を守るための決断であり、又、防衛費と物価高騰対策とは別のものであると考えるので反対する。

賛成 戦後日本は憲法9条に基づき平和国家として専守防衛に徹してきた。他国の領域を攻撃できる反撃能力、敵基地攻撃能力を保有することは日米安保条約を根幹から転換するもの。重大な政策転換が国民の議論を経ず決定されている。5年間の防衛関連予算を43兆円とし財源確保は増税することを閣議決定し、平和国家の将来、進むべき道を国会で徹底的に審議するべきと考える。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
発議案（第14号）	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	○

発議案第15号 旧統一教会及び関連団体と関係を持たないことを宣言する決議

賛成少数で否決

討論

反対 決議書で提示するほどではないと提出者も反対者も一緒な気持ちと思う。個人的にそれは理性とモラルと常識ある考えで行動すればいいことであって、これを決議書というような提示をして決議する必要は無いと思っている。

賛成 旧統一教会がやってきた政治的な立場を利用して、政治家を利用して広告塔になってやってきたことが反社会的な内容である。住民に不幸をもたらしてきたことに対して政治家は襟を正すべきではないかということで、岸田首相も関係を断ち切ると発言している。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
発議案（第15号）	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

議会活動日誌

10月		
日	曜日	会議・行事
6	木	南部町戦没者献花式
7	金	広報常任委員会①
14	金	広報常任委員会②
18	火	鳥取県西部町村議会議長会連絡会
24	月	鳥取県西部広域行政管理組合議会ごみ処理施設等調査特別委員会
25	火	広報常任委員会③
31	月	南部町議会臨時会 議会改革調査特別委員会（先進地視察研修）

11月		
日	曜日	会議・行事
8	火	中国横断自動車道岡山山米子線整備促進総決起大会
9	水	町村議会議長会全国大会・研修会
10~11	木~金	南部町・伯耆町清掃施設管理組合議会視察研修
11	金	鳥取県後期高齢者医療広域連合議会定例会
17~18	木~金	南部箕蚊屋広域連合議会地方行政調査
21	月	鳥取県町村議会議員研修会

22	火	議会運営委員会
28	月	鳥取県西部広域行政管理組合議会定例会
29	火	南部町議会臨時会

12月		
日	曜日	会議・行事
9	金	議会運営委員会 議会全員協議会 定例議会 本会議
12	月	定例議会 一般質問
13	火	定例議会 一般質問
14	水	定例議会 一般質問
15	木	常任委員会
16	金	常任委員会
19	月	常任委員会
20	火	議会運営委員会 議会全員協議会
21	水	定例議会 本会議

令和4年12月議会を終えて

南部町議会議長 景山 浩

明けましておめでとございます。本年が町民皆様にとって良い年になりますよう心よりご祈念申し上げます。

さて、令和4年12月議会定例会が12月9日から13日間にわたり開会され、執行部提案16議案、議員発議3議案の合計19議案の審査を行い、執行部提案は全議案を可決、議員発議は1議案を可決、2議案を否決としました。

今回の議会は、執行部提案の内の8議案が電気代高騰による予算不足を補う補正予算であり、日本のエネルギー供給体制の脆弱性を如実に現した議会となりました。

昨年は、オミクロン株による第6波の感染拡大が懸念されていましたが、今年は第8波の感染が拡大中で、一向に終息が見えてきません。この感染拡大の悪影響の一つに出生数の減少が挙げられ、少子化のスピードが約20年早まると言われています。国はこのような事態を受け、少子化・人口減少対策への本格的な取り組みを打ち出しました。

私たちの生活や地域にとっても極めて重要な問題で、長期にわたる継続的かつ革新的な施策展開が求められます。

30年後、50年後、子や孫の世代に「遅きに失した」と言われぬよう、南部町議会としても積極的に取り組んでいかなければならないと考えています。

令和4年12月定例議会一般質問ダイジェスト

	議員名	発言時間	質問事項	
1	白川 立真	20	1	西伯病院を診る
2	埜田 光雄	20	1	マイナンバーカード
3	滝山 克己	15	1	電動カート取得支援
4	荊尾 芳之	30	1	保育行政
			2	少子化対策、こども子育て世代への支援
5	加藤 学	30	1	会計年度任用職員
			2	インボイス制度
			3	前立腺癌検診
			4	肥料価格高騰対策事業
6	亀尾 共三	30	1	町道認定
			2	学校給食の無償化
7	仲田 司朗	30	1	小規模事業者支援
8	眞壁 容子	30	1	保育園の民間移管
9	板井 隆	30	1	教育振興基本計画
			2	つくし・さくら保育園の統合
10	細田 元教	30	1	来年度施策

※荊尾議員は、一般質問予定日に新型コロナウイルス感染症濃厚接触者となり、一般質問が出来ませんでした。一般質問通告は提出しているので質問項目は掲載します。

あなたの声を
町政に問う!



【質問の通告】

一般質問は、議案と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】

定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に問います。

西伯病院を診る

Q これからどこに向かうのか
A 地域密着型多機能病院へ



白川立真 議員



白川 西伯病院の経営状態を健康状態に例えるなら健康、未病、病気のうちどれか。

病院事業管理者 病気ではないと認識しているが、経営は非常に厳しい状態だ。

白川 今後の方針の中で、地域密着型多機能病院を指すところがあるが、その機能の一つに「介護医療院」という言葉がある。どういうものか。

病院事業管理者 令和5年度末に介護療養ベッド20床が転換期を迎える。この20床を有効に使うための一つの案として介護医療院がある。特徴として、院内だが在宅のような住まいという位置付けになる。

白川 西伯病院は専門ドクターで構成されている。しか

し、高齢化にともなって複数の疾患をもつようになる。ドクターコトー診療所に出てくるような総合診療医が必要になるのではないかと、健康問題を生活習慣など総合的に診ることを役割とするドクターが求められている。

病院事業管理者 今、健康問題を生活習慣など総合的に診ることを役割とするドクターが求められている。

まず総合診療医がファーストタッチで診ていきながら専門ドクターと連携していく必要性を感じている。

町長 今後の病院経営について不足など様々な課題がある。地域医療を残すためには、診療機能の分化や縮小等、時代に応じた医療提供体制の変化はやむをえない。

時代背景と住民のニーズに合わせて、自在にその機能を変えながら住民、患者の満足度を高めることこそ西伯病院に求められている。

マイナンバーカード

Q 交付率を上げる施策を
A 各種会場での受付を順次拡大していく



埴田光雄 議員



埴田 現在の申請率と交付率を問う。

町長 令和4年10月末現在での申請率は約61%、交付率は約50%となっている。

埴田 約11%の差があるが原因を問う。

町長 申請は来庁かネットで申し込みが出来るが、交付は来庁してもらい確認してから渡す。その間約1か月程度かかり、まだ取りに来られていない状況がある。

埴田 セキュリティ対策を問う。

町長 マイナンバーカード自体には重要な情報が入っていない。券面には顔写真があるし、利用するときは暗証番号が必要。

複数回入力を間違えるとロックがかかり利用できなくなる。また、紛失してもマイナンバーのフリーダイヤルに電話をすれば一時停止ができるので、安全面としてある程度充実している。

埴田 交付率等を上げる施策を問う。

町長 国ではマイナポイント交付のテレビCMやウェブ広告等で広報している。南部町では新型コロナウイルス接種会場やキナルなんぶ、スーパーマーケットの店頭や町内企業の各種行事、スマホ教室での受付等を順次拡大していく。

山陰両県の市町村別マイナンバーカード交付率 ※10月末現在の総務省まとめ

鳥根県		鳥取県	
松江	52.6%	鳥取	52.7%
浜田	57.0%	米子	51.6%
出雲	49.8%	子吉	50.0%
益田	47.2%	吉港	48.4%
大田	50.1%	境	55.7%
安来	52.4%	美郷	40.0%
津和野	55.9%	若智	52.3%
雲南	45.0%	八頭	49.3%
出雲	42.1%	三朝	52.6%
飯南	58.2%	湯梨浜	47.0%
川本	54.9%	琴浦	57.9%
美郷	54.5%	北山	48.6%
邑南	53.2%	日吉津	62.4%
津和野	60.6%	大津	44.4%
吉賀	45.9%	南都	50.5%
海士	57.9%	伯耆	51.0%
西ノ島	61.0%	日南	38.4%
知夫村	63.5%	日野	49.4%
隠岐の島	63.2%	江津	51.9%
県平均	51.6%	県平均	51.3%
全国平均			51.1%

一般質問

電動カート取得支援

Q 補助の対象とならないか

A バスの予約方法などソフト面で支援したい



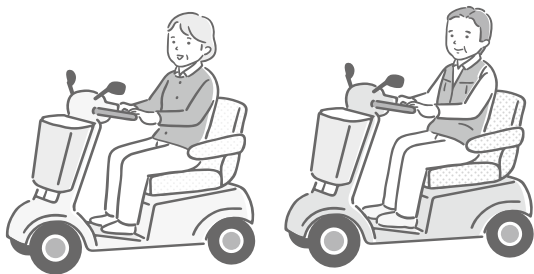
たきやま かつみ 議員
滝山克己



滝山 電動カート取得支援を求める。

町長 町では自主返納された方で70歳以上の方には一回限りですが、ふれあいバス・日の丸バス又は福祉タクシー一万円分の乗車券を交付し、二年間で95名の方が利用されている。今後は返納者への支援としては町内に張り巡らされた公共交通を有効利用していただくことを中心に考えている。

また、高齢者等の皆様が安心して運転免許証を返納できる体制づくりが必要と考え、乗車体験やスマホを使ったバスの予約方法の講習会など、ソフト面での支援に重点を置くように考えている。



滝山 バスでは自分の思う場所に途中で先行変更できない。計画的に移動する他は利用できない。

町長 移動手段については地形も考慮しながら、電動カートをも含め、今後も検討をしていきたい。

来年度施策

Q 少子化対策、子育て支援施策は

A 子育て施策に重点を置く



ほそだ もとのり 議員
細田元教



細田 国の全世代型社会保障審議会では、子育てに力を入れていく。我が町でも子育て環境、少子化対策について、どのようにするのが重要である。南部町は全県下の町村で一、二を争う人口流入が起きている。子育て環境が良いため子育て世帯も多数が移住している。鳥取県西部の町村では南部町が一番だ。

さらなる子育て支援施策を問う。来年度に向けた施策については、現在、予算編成に取り掛かっている。その中で子育て施策にも重点を置き、子育てしやすい南部町を一層進めていく。保育の充実はもとより、ネウボラを中心として子育てを親育ちと捉え、各成長段階において関わりを持ち、常にサポートしていく。子どもの広場の第二期整備として、総合福祉センターいこい荘の前庭

の改修や誕生祝い事業で三歳を迎える子どもの家庭に宿泊体験などをプレゼントするほか、個別事業の見直しをすることで、より子育て世帯に寄り添った施策になるよう検討しているところである。

細田 子育て支援施策でハード面の施策が重要と考える。特に保育園の改築というのは大きな位置づけだと思うが。

町長 町長二期目にあたって一番中心に捉えているのが、つくし保育園の防災環境と、さくら保育園の施設環境の改善である。両園ともに不満を持っておられる方が多い。この老朽化に対処したい。その手段として二つの園の統合とコスト面を考え民営化の方向を探っている。私の政治生命も掛けながら本気でこれを取り組んでいく課題だと思っている。

ぜひ町民の皆様にも忌憚のない御意見も頂戴しながら、場所の選定、運営方法等を皆さんの力、お知恵を拝借しながら前向きに捉えていきたい。

※細田議員の一般質問は本来10番目ですが、紙面の構成の都合でこのページに掲載しました。

会計年度任用職員

Q 格差是正を求める

A 設定が違っている



背景

人事院勧告で正職員の勤
勉手当があがった。しか
し、会計年度任用職員には勤
手当がない。そのため会計年度
任用職員と正職員との格差が
広がった。

加藤

会計年度任用職員と正職
員の違いについて。

インボイス制度

Q 救済措置を求める

A スタート前から検討しない

背景

令和5年10月からインボ
イス制度が導入される。
今まで消費税の納税義務がな
く、飼料米をJA以外に納品し
ていた農家の人から、取引先か
ら消費税分の引き下げを求めら
れたと聞いている。

町長

一般職の会計年度任用職
員は正職員の補助的事務
や申請などの受付業務をしている。

加藤

会計年度任用職員と正職
員の格差の是正を求める。

町長

会計年度任用職員は任期
の定めのない常勤職員
(正職員)と異なる設定をする
必要があると明記されている。
(なので給料が違うのは当
然。)

加藤

インボイス制度の導入で
南部町内では収入が減る
人はどのくらいいると考えるか。

町長

町内の大多数の農業者は
免税業者になる。免税事
業者と課税事業者の取引では、
取引を敬遠されたり、価格面で

不利になるようなことが起きる
ことが想定される。

南部町として救済措置を
作ることを求める。

インボイス制度は消費税
の適正納付を推進する方
策である。新制度スタート前から
救済措置を検討する考えはない。

前立腺がん検診

Q 再開の検討を

A 再開に向けた検討をして行きたい

加藤

前立腺がん検診を止めた理
由は何か。

町長

南部町では厚労省の指針
に基づき肺がん、胃がん、
大腸がん、子宮がん、乳がんの
検診を行っている。前立腺がん
は平成26年から検診を行ってい
たが、平成30年に対策型がん検
診として推奨しなくなったの

で廃止とした。

加藤

前立腺がん検診の再開を
求める。

町長

南部町はがん征圧宣言を
行っている。西伯病院を
はじめ町内の医療機関と、検診
の頻度を十分議論を深め、実施
に向けた検討をして行きたい。

肥料価格高騰対策事業

Q 告知方法は

A あらゆる方法を使う

加藤

10月補正予算で肥料価格
高騰対策事業がきまった。
全体のスケジュールやそれに伴
う告知方法は決まったか。

町長

情報なんぶ12月号、町の
ホームページ、12月発行

のJA西部の「そよかぜ」の折
込チラシなどで周知する。

本事業は国の補助事業なので、
年度内完了が原則である。販売農
家から町の農業再生協議会への申
請期間を2月28日までとする。

町道認定

Q 公道は行政の管理が原則

A 現実を踏まえた対応ができないか検討する



かめお きょうそう 議員 亀尾共三



業を業者に委託する予算を確保するのは現実的には非常に困難だと認識している。

亀尾

道路維持は大変だとは思いますが、集落での維持は人的な構成を考えると非常に大変な状況だ。

一般財源を使い業者委託等考

えるべきではないか。

町長

おっしゃられていることは私も痛感しているし、多くの町民も感じておられると思う。一般財源を草刈りに使うべきだと、議会や、住民の皆さんの合意があれば否定するものではない。道路の安全確保は、ガードレール等の修復などもあるが、優先順位の問題だ。地域の皆さんに一生懸命やっていただいていることは重々承知している。

亀尾

先の議会答弁で「今の制度は時間が経過してきた

ので、検討課題として受けた」という事であったが、検討の結果を聞く。

町長

建設課で今までの補助制度にさらにもう少し、現実を踏まえた対応ができないかということを検討しているところだ。

学校給食の無償化

Q 県に支援を求めて

A 牛乳単価据え置きを求めたが難しいとの回答だ

亀尾

学校給食の無償化の実施を求める。県に無償化の実施のための支援を求める考えはないのか。

教育長

学校給食については原材料にかかる経費のみ保護者に負担いただいている。飼料高騰等により、県農林水産部畜産振興局畜産課から、12月より給食用牛乳の単価を2円上げるとの連絡を受けた。町村教育長会として県補助による価格据え置きを要望したが、難しいとの回答だった。

このことから、現時点では市

集落の問題としてとらえてい

ただけるのであれば、総務課が窓口になりながら、高齢化の中でどうするのかの視点については、行政もしっかり応援したいと思っっているので、そういう側面で支援をさせていただきたい。

亀尾

無償化している大山町の町村がそれぞれの財政状況においてとりえる範囲で対応することが肝要と考えている。

町長

国を挙げて義務教育の一環としてやるのであればいいが、優先順位の問題だ。

小規模事業者支援

Q 企業振興基本法制定と事業者の支援は

A 商工会と十分調整を図っていく



なかだ しろう 議員
仲田司朗



緒になって応援していく考えだ。

現在条例は制定はしていないものの、令和元年10月に策定した南部町商工会ビジョン2020に掲げている内容には、行政との連携のもと条例制定に向けて進めていくことになっている。

仲田 コロナ後を見据えた町内の小規模事業者の現状について、どのように認識しているのか。

町長 コロナ禍の影響は多岐に及んでいると認識している。

飲食業、宿泊業をはじめとする町内の小規模事業者にも売上の減少等で大きく影響を及ぼしているとの認識している。特に影響が大きい業種を中心に、応援金の交付や商品券の配布を通じて直接または間接的に事業継続支援を行ってきた。

新たに燃油や原材料価格の高騰に伴う利益率の減少に状況が変化しているのではないかと推

察している。

仲田 南部町も年々人口減少と少子高齢化が進んでいるが、小規模事業者の経済活動を活発にすることで、地域が元気になると感ずるので、今以上の支援策ができないか。

町長 小規模事業者の支援については、起業への支援や融資を受けた事業者への利子補助を行っている。特に、新規起業へ50万円の奨励金を交付している起業促進奨励金については、コロナ禍でも令和2年度9件、令和3年度10件、今年度もこれまで7件の交付実績がある。起業に係る初期投資の一助になっている。今以上の支援策については、燃油や原材料価格の高騰、円安による影響を受けた事業者への利子補助を行う予定である。一過性でない効果的な支援について、引き続き商工会と協議しながら検討を進めていきたい。

仲田 町版のハローワークの現状はどうなっているのか。

町長 窓口はデザイン機構のほうで行っていて、今年の7月にハローワーク米子と雇用就業支援対策に関する情報交換会を年に1回設けるとした。令和3年度実績は来訪者数28名、うち新規の相談者が14名、採用決定者が6名、その中で正規雇用が2名で非正規が4名。令和4年度も引き続き就職相談が増えてきている。製造業、福祉、介護の募集が多く出ているがマッチングが上手くいっていない部分がある。

仲田 町内の小規模事業者が求人募集しても応募がない現状がある。

町長 県立ハローワーク、ハローワーク米子と連携して町内の事業者に声をかけて南部町版の就職相談会を開催していきたい。

背景

平成26年6月に公布された「小規模企業振興基本法」では、地方自治体においても企業振興に関する施策・実施する責務が明記されるとともに、国、地方自治体等は相互に連携を図りながら協力を努めなければならぬと規定されています。

仲田

当町でもこの「小規模企業振興基本条例の制定」を求める。

県内の市町村では、一市三町が条例制定されている。条例制定されない理由があるのか。

町長

南部町の企業の大半を占める小規模事業者は、地域の雇用や経済を支えるなど重要な役割をはたしていると認識している。行政はもちろんと、町民と一

一般質問

保育園の民間移管

Q 公立保育園を民間にする必要があるのか

A 財政的には民間による建設が有利



まかべ ようこ 議員
真壁容子



背景

現在、町が民間移管しようとしている2園は、すでに運営は「伯耆の国」に指定管理をし、「民営化」している保育園だ。この2園が、なぜ今町立をやめ民間にする必要があるのか厳しく問いたい。

真壁

保育園を巡る課題は何と考えるか。

町長

保育士不足は困難な状況が続いている。他に施設の災害・老朽化対策があげられる。

真壁

課題が公立保育園を民間にすることで解決できるのか。

町長

保育士不足の課題に向けては民営化すると柔軟な対応ができる。

真壁

民間だと柔軟な対応で、採用ができるということだが、町提出資料【下表①】を見ると、（民営化保育園の）正規職員保育士は、18人だ。あとは非正規に頼っている。この結果、0歳児が受け入れられていない。【下表②】これで「保育士の採用が柔軟にできる」といえるのか。

町長

公立保育園の募集をしたら応募がない。正規保育士の勤務の厳しさ、責任の重さがあるのだろう。もう一点は、公務員と民間の初任給の差があると聞いている。

真壁

町にとって、公立保育園を民間にする必要があるのか。

町長

財政的に検討した結果、民間による建設が有利であると結論に達した。

真壁

建設費でいえば、15年間で見れば年間50万円の差だ。【下表③】たった50万円の差のために民間移管するのか。サービスの問題でもこの10年間休日保育はやれていない。0歳児は公営保育所と小規模保育所に持ってきているではないか。一番の改善策は抜本的な保育士の待遇改善ではないか。

町長

保育士給与が非常に安い。0歳児や未満児の現場の人数の確保に問題がある。安全の確保のため、現在も指定管理料の中で人数の配置とかを提案してやっている。そういう支援は今後もしなければならぬという認識はある。いろんな課題があるが、今の公設を民営化することを阻むものではないと考えている。

① 令和4年度保育職員数

	【直営】		【伯耆の国】	
	すみれ	ひまわり	さくら	つくし
園長	1	1	1	1
保育士(正職)	11	7	8	10
保育士(非正規)	12	8	8	8
保育補助(非正規)	10	8	1	4

② 0歳児受入数

(令和4年10月末時点)	
すみれ	6
ひまわり	4
つくし	0
さくら	0
ペアーズ	4
さくらキッズ	1
合計	15

③ 保育園建設に係る町財政負担

(15年間総額)
【建設費総額735,000千円】

公設の場合	419,646千円
民設の場合	413,820千円

教育振興基本計画

Q 第3期基本計画を問う

A 社会の変化に対応できる人づくりを目指す



板井 隆 議員



背景

教育振興基本計画を進めるにあたり、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、教育施策も厳しい状況にあると思う。第3期教育振興計画のビジョンと方向性について問う。

板井

コミュニティ・スクールにおける、地域と協働した、まち未来科を学ぶ施策を問う。

教育長

現行の基本計画は、ふるさとを愛し、志高く南部町から未来を切り開く人づくりを理念に教育方針を掲げている。

コミュニティ・スクールとは、地域や保護者の方々に学校運営に参画していただく仕組みである。

約3年間続くコロナ禍により、

皆さまの参画を受けることのできない現状は残念であり、子ども達への影響も懸念するところである。

今後はデジタル技術の活用を図りながら、新たな町民参画のあり方を構築する必要があると考える。

板井

子ども達が安心して学び、お互いに認め合い、高め合える保育・教育の取組みについて問う。

教育長

教育の保証は学校教育の根幹であり、コロナ対策という新たな視点で配慮を加え、すべての児童生徒の学びを保証するため、きめ細やかな支援に取り組みたい。

つくし・さくら保育園の統合

Q 統合に係る「基本計画」案について

A 保護者が安心して預けられる信頼された運営

背景

保育園統合に係る「基本計画」案が公表された。議会では統合の是非、民設民営の運営方針に様々な質問がなされてきた。

板井

民設民営のメリットと基本計画のパブリックコメントの内容について問う。

町長

- ① 保育士確保の柔軟な対応。
- ② 建設費に国の補助がある。
- ③ 運営費の町負担が明確になる。
- ④ 公営と同じ保育水準に加え、独自の工夫で保育の提供が可能になる。

現在までにいただいた意見を基本構想の修正を行っている。

板井

つくし・さくら保育園を10年間、指定管理で運営した「伯耆の国」に対する評価を問う。

町長

保護者、保育士から町に對して保育園の不満など無いことから、おおむね良好であると思っている。

板井

「伯耆の国」に求めるものは何か、今後の整備運営に関して問う。

町長

施設整備は安心安全で児童・保護者に魅力ある施設、保育士が働きやすい施設を目指していただきたい。

運営については安全の確保、子育て支援の充実、利便性の向上をお願いしたい。



アンケート

アンケートにご協力ください。以下に○を付けて下さい。

今後の議会だよりの発行に活用させていただきます。

天万庁舎、法勝寺庁舎の1階にアンケート用紙と回収箱を3月1日から31日まで設置します。

ご記入の上、投稿下さい。

QRコードからスマホでもアンケートに投稿できます。



- 表紙 (大変良い 良い 普通 悪い)
その他 ()
- 12月議会定例会報告 (2-4ページ) レイアウト (大変良い 良い 普通 悪い)
文章の数 (多い 普通 少ない)
その他 ()
- 議長挨拶 (5ページ) レイアウト (大変良い 良い 普通 悪い)
文字数 (多い 普通 少ない)
その他 ()
- 一般質問 (6-12ページ) レイアウト (大変良い 良い 普通 悪い)
文字数 (多い 普通 少ない)
その他 ()
- 町政要望 (14-15ページ) レイアウト (大変良い 良い 普通 悪い)
文字数 (多い 普通 少ない)
その他 ()
- 若者×議員「自分・町・未来を語る会」 (16-18ページ)
レイアウト (大変良い 良い 普通 悪い)
文字数 (多い 普通 少ない)
その他 ()
- 挑戦者たち (19ページ) レイアウト (大変良い 良い 普通 悪い)
文字数 (多い 普通 少ない)
その他 ()
- 二十歳の門出 (20ページ) レイアウト (大変良い 良い 普通 悪い)
文字数 (多い 普通 少ない)
その他 ()
- 年齢 (20代未満 20代 30代 40代 50代 60代以上)
議会だよりを (必ず読む 読む 読まない)
興味がある記事 ()
- フリースペース

このアンケートは議会だよりの発行の参考以外には使用しません。 南部町議会広報常任委員会

令和5年度 町政に対する要望事項

1. 人口減少対策

今、本気で人口減少対策を取らなければ南部町がなくなる。町長も職員も議員もなくなる危機感をもって、一刻も早く対策を講じる必要がある。

- (1)結婚から妊娠、そして出産まで手厚く支援することで、子どもを産み育てる気持ちを強くする。今回、国の補正予算の施策に上乘せし、ネウボラ子育ての南部町として特色ある施策を求める。
- (2)人口減少により集落維持が困難になってきている。県道や集落間の道路の草刈り作業等が出来なくなりつつあるため、早急に対策を求める。

2. 農業対策

- (1)生活が成り立つ農業にすること。
- (2)離農を防ぐことにより耕作放棄地をださない「汗かく農業者支援事業」の次の一手の施策を求める。
- (3)米の買取価格が戻らない。肥料、飼料の高騰対策として、国の支援策が複雑すぎて小規模農家にとって取り組みにくいいため、町の独自の支援策を求める。

3. ため池の防災対策

- (1)南部町では、防災重点ため池の改修整備工事を行うと受益者負担が発生するが、関係農家が著しく減少しつつあり、受益者負担が厳しい問題となっているため、この対策を求める。
- (2)現在、放置されたため池があり、水害災害等でとても危険である。町主導で、ため池の管理の徹底を図り、存続か廃止か決定し、廃止の場合は、埋め立てや堤を開削して危険防止を図ることを求める。

4. 公共施設の整理をされたい

- (1)現在、手つかず或いは投げっぱなしの公共施設が見受けられる。早急に公共施設の存続か廃止か、または地域への移譲かなど方向性を出すこと。
- (2)存続を決めた施設は、適正な修繕等を実施し、安全に使用できるように維持管理を徹底すること。



5. 地域内経済の循環の活性化を図る

- (1)町民のお金が町内で回るようにすること。町商工会に加盟の183事業者（会社や個人事業主、（大工さん、左官さん等））の紹介やPRを広く行い、町内事業者へ仕事が発注となるシステムを構築すること。
- (2)小規模工事の商工会への依頼については、工事契約額を30万円未満から100万円に拡大することを求める。

町政に対する要望事項



6. 町道認定

(1)町道認定の基準を改定することを求める。

7. SDGsの観点から人権対策の強化を求める

(1)我が国の7人に1人の子どもが貧困状態にあるとされている。「だれひとりも取り残さない」という理念のもと、子どもの貧困対策、ジェンダー平等施策についてさらなる強化を求める。SDGsの理念を「あらゆる差別をなくす」施策に活かしてほしい。

8. 保育園の統合・運営

(1)統合する新たな保育園の建設や運営について、広く関係者、町民の声を聴き、クオリティの高い保育園となるよう努めてほしい。また統合に至る経緯や新保育園運営について、認知度が低いと思うことから、広く町民へ周知してほしい。保育の質を高めるため、職員増と待遇改善を求める。

9. 環境対策のさらなる充実

(1)令和4年度回答の中で「地域脱炭素に向けた再エネの最大限導入のための計画策定」を予定しているとしている。再エネ省エネ設備への補助拡大を求める。
(2)硬質プラスチックの回収についてCO₂削減に資するよう改善してほしい。

10. 中学校制服の補助制度

(1)令和4年度から3年間に限り補助を行っているが、本来、制服は「指定服」であることから、令和7年度以降も補助制度を継続してほしい。

11. 学校給食費の保護者負担

(1)現在、材料費については保護者負担となっている。消費者物価指数は数十年ぶりの高い水準となっていることから、「材料費」の負担軽減を求める。また多子世帯においては、非常に厳しい状況と推測する。多子世帯へは、一層の負担軽減を求める。

12. 前立腺がん検診

(1)我が町はがん征圧宣言をしている。早期発見、早期治療の主旨から「前立腺がん検診」を再度行ってほしい。

若者 × 議員「自分・町・未来を語る会」を開催しました。

1月22日（日）に“キナルなんぶ”を会場に、若者（南部町高校生サークルWith You 翼と新☆青年団）×議会議員で意見交換会を開催しました。当日は青年17人（うち2人は兵庫と埼玉からリモート参加）と議員14人が参加しましたので、様子をお伝えします。

議員は町民から選ばれた代表であり、議会としても町民皆様の声を行政に届け、活かすことが責務である。

この想いで、「住民の声を聞く会」を開催してきた。コロナ禍の影響で二年にわたって開催できないまま現在に至っていた。



副委員長 白川立真議員、青年へ「議会の活動」について説明。

フリップトークで意見交換のテーマ

（前半）アイスブレイク

- ・自己紹介 ・特技、趣味
- ・大切にしている言葉（座右の銘）
- ・かっこいい大人とは（尊敬する人）
- ・将来の夢

（後半）町の未来に迫る

- ・政治って何？ ・今の南部町に必要なもの
- ・10年後どんな南部町にしたい
- ・お互いに期待すること
- ・一緒にやってみいたいこと



景山議長のあいさつ後、少子高齢化と若者の人口流失の現状を皆で学んだ。



皆さん真剣に聞き入っていました。



会場全体の様子

高校生サークル・新☆青年団の活動について

学校教育支援（中学校まで）は確立しているが、高校生や青年になると地域活動のかかわりが薄れる。若者が活躍できる環境と地域を盛り上げる人材育成を目的に組織を結成した。

「出会い・体験・感動」を求めて活動を続けている。

かっこいい大人（尊敬する人）

青年フリップ意見

- ・常に努力をしている人
- ・目標を持っている人

議員フリップ意見

- ・意見の対立があっても影でフォローしている人
- ・自分の思いを持ち、周りとの調和できる人

将来の夢

青年フリップ意見

- ・海外に行きたい、美容師関係の仕事
- ・地域のキーパーソン
- ・お家カフェを出す

議員フリップ意見

- ・知らないところについてみたい
- ・より良い暮らしを送るため考え実行する
- ・孫（4人）の結婚式に出席すること



政治って何？

青年フリップ意見

- ・民を正しく導くこと
- ・町民の意見を実現する人
- ・固いイメージ・生活を豊かに考える

議員フリップ意見

- ・より良い暮らしを送るため実行すること
- ・権利の制限と義務を課すことの決定
- ・住民の声を行政に届ける

10年後どんな南部町にしたい

青年フリップ意見

- ・兼業農家への支援
- ・人口が増え、誰もが幸せに暮らせる町
- ・多くの子どもたちが笑顔で歩いている町

議員フリップ意見

- ・個々の幸福度UP
- ・笑い声がこだまする町



お互いに期待すること

青年フリップ意見

- ・次世代への支援の継続と拡大
- ・公園を作ってほしい（集える場所）
- ・世代、地域を巻き込んだイベント

議員フリップ意見

- ・活力の出る施策
- ・住民が輝いて、笑顔いっぱいの町
- ・住民が幸せを感じる町づくり

<若者の感想>

- ・ 議員と初めて話して、町の未来を
考えることができた
- ・ 時間が足りない（多数意見）
- ・ 町づくりへの熱意を感じた
- ・ いろいろ知ることができた
- ・ またこのような機会がほしい
- ・ すごく奥深いところまで話を
することができて良かった
- ・ 町のことを真剣に考えていると思った



意見交換会を終えて

3年ぶりに若者との意見交換会が開催でき大変良かった。

平成31年1月に青年議会で議員を務めた当時の高校生サークルの5人、この度は青年団の一員として参加していただいた。コロナ禍で失った3年間の歳月を感じ、大人になった姿と、新鮮な高校生を含む17人の若者との交流で、町の将来を真剣に考えていることが分かり、有意義な時間であった。

今後も多く町の意見交換会を開催し町政に反映できるように、議員一同、新たな思いを持った。

議会改革調査

特別委員会

委員長 板井 隆

副委員長 白川立真

他 委員一同

議員にタブレット端末の導入（令和5年度一般会計予算に）

<経 過>

- (1) 前委員会から引き続いて検討を継続（2020年12月から）
- (2) ぎじろくセンターより機能と利便性について聴取（2022年6月）
- (3) 先進導入された大山町・日南町へ視察（同年10月、11月）
- (4) さらなる課題整理と議員ICT環境現況調査の実施（現在実施中）
- (5) 調査結果の分析と最終報告に向け、予算を調整中。

<タブレット端末の導入検討の効果>

- ・ ICTシステム（端末・アプリケーション）を導入し、その利便性を生かして「議会機能の強化」を推進する。
- ・ 資料の電子データ化により執行機関側などとの情報共有をより円滑に推進するとともに、資料を蓄積する。
- ・ 町民への迅速・的確な情報提供していく。
- ・ 災害情報の収集と共有をする。
- ・ 経費削減効果（大山町：コピー紙 約12万枚の削減）
- ・ 事務の効率化・省力化（製本作業の削減）



大山町議会へ行政調査



一般社団法人
里山生物多様性プロジェクト

直前代表理事
のぐち こうじ
野口 浩二さん

- ・南部町鶴田出身 ・富山大学（理学部物理学科）
- ・名古屋大学大学院（物質理学専攻）
- ・センサーを製造するメーカーに就職
- ・日本インタライツ株式会社を創業
- ・一般社団法人里山生物多様性プロジェクトを設立

住 所 / 〒683-0217 南部町鶴田461 日本インタライツ(株) 電 話 / 080-6313 8550

「南部町を日本一の里地里山へ」

今、多くの若者が環境問題や気候変動に関心をもっています。
しかし、県内には環境大学はあるが、環境をテーマとした仕事が少ないと思っています。
10年後を目標に、環境問題や里地里山の保全に関心のある方へ、環境をテーマとした仕事づくりに貢献したいと考えています。
その足がかりとして、南部町を日本一の里地里山にし仕事や観光につなげていきたいと思っています。



虹の村バンガローで第2回国際生物多様性の日祭り開催風景。



第2回国際生物多様性の日祭りのポスター



テレビ・新聞等で取り上げられたビオトープで生態調査。



第12回地域再生大賞優秀賞受賞の報告 いくらの郷 坂本館長へ。

二十歳の門出

若者×議員「自分・町・未来を語る会」に参加したメンバーのうち二人が二十歳を迎えた。意見交換会の感想と二十歳の決意を伺った。

【感想】



さいが ゆうな
雑賀 優奈さん

貴重な機会を設けてくださってありがとうございました。普段生活をしていく中で、議員さんとお話しをすることは、絶対と言っていいほどない事だと思います。今回の交流を通して、政治や南部町の今後について、議員さんだけでなく、高校生や青年団の考えを聞くことが出来て、新しい発見ができました。今まで政治のことは考えたことがありませんでしたが、政治や南部町の今後の課題を初めて知ることが出来、考えるいいきっかけになったと思います。

人口減少、少子高齢化、住みやすいまちを作るなどを叶えるためにも、若年層の意見などを反映してもらえる、お話する場がたくさんあるといいなと感じました。今回はたくさん勉強させて頂きました。ありがとうございます。

【二十歳の決意】

高校1年生から高校生サークルWith you翼に入り、現在青年団に所属しています。活動を始めてから、南部町に関わる機会を沢山作っていただき、今回の語る会も含め、普通の社会人であれば経験しないようなことをさせてもらっています。活動を通して、町民の方から嬉しい声を頂くことがとてもやる気になっています。これからもできるだけ活動に参加して、人に喜んでもらえる、頼られるオトナになりたいです。これからも南部町に貢献できるよう頑張ります！

あとがき

今回の「議会だより」についてアンケートを取ることになりました。表紙の写真や最終ページの写真、議会の内容、文章の量や、一般質問のレイアウトについてなど、広く町民の皆様の意見をお聞きする事にしました。天万庁舎と法勝寺庁舎の1階にアンケート用紙と回収箱を設置します。

期間は3月1日(水)から31日(金)までです。

またQRコードからスマホでもアンケートに参加できるようにしました。

今後の議会だよりの発行に役立てたいと思いますのでご協力をお願いします。(加藤)

【感想】



みかも こうすけ
三嶋 昂将さん

今回の会のように町議会議員と私たち若い世代が交流することは、双方のみならず町にとっても非常に有意義なことであると思いました。

議員の皆さんは私を含めた町民の方々の信託を得て、南部町をよりよくしようと日々職務に励まれています。また、議員の皆さんは町民の代表者として身近な意見を町政に届ける役割も担っています。しかしながら、私のような若者たちは町に意見を言いたくても、このだれにどのように言っているのかわかりませんし、議員がそもそもどんな人もわかりません。その点、今回の交流では若者と議員が等身大で町の未来を語り、議員という職に理解を深めた上で議論を交わして、とても建設的な意見交換ができたと思います。一度だけで終わらずに定期的に会を実施して、実現できそうなものは政策として町政に反映し、かつ議論の内容を町の内外に発信できるようになればより意義のあるものになると思いました。

【二十歳の決意】

私は将来南部町に戻ってきたいと思っています。現在は大阪の大学に通っていますが、なぜ自分がここにいるのだろうかと考えたときに、やはり家族や地域の人のおかげであると気付きました。家族はもちろんのこと、地域の人にも支えられて育ち、大学で学ぶことができています。私はこれまで育てていただいた家族、地域の方々、町への恩返しをし、少しでも役に立ちたいと思っています。大学では防災を専攻にしているので、ゆくゆくは市町村の災害対策の先頭に立つ町長となって防災行政を行い、安心安全なまちづくりを行いたいと強く思っています。家族には反対されていますし、町長になるとしても、いまのままでは力不足知識不足で不適格なことは自分が一番理解しています。それでも南部町に戻って町長になりたいのは大阪には多様な就職先はあっても、生まれ育った「忘れがたき故郷」に勝るものはないからです。私は今まで守ってくれた家族や地域の人、そして故郷を災害から守りたいという意志があります。大学ではこの意思のもとで引き続き勉強に励み、大学を卒業後はまず社会経験を積み、地域の役に立てるように精進したいと思います。

広報常任委員会

委員長 加藤

学

副委員長 埴田 光雄

委員 景山

浩

板井 隆

白川 立真

長束 博信

仲田 司朗

荊尾 芳之